平成２９年度　全国学力・学習状況調査

教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立信夫第一小学校長

平成２９年４月１８日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は６年生で、国語と算数の２教科の実施となりました。

国語と算数の２教科で、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教　科	全国平均 正 答 率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	７４．８　％					○
国語B	５７．５　％					○
算数A	７８．６　％					○
算数B	４５．９　％	○				

【国語Ａ：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領　域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと･聞くこと	６９．２ ％					○
書くこと	６０．６ ％					○
読むこと	７０．２ ％	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	７８．０ ％	○				

【考　察】

○　話し合いの進め方や手紙の書き方などは、繰り返し体験を通して学んできたことにより十分に身についているようです。

○　俳句のように、少ない文字数の中に込められた情景の様子や作者の心情を想像する力が十分に身についていませんでした。短い言葉や人物の表情、場面の様子などから心情を察したり、その背景にある思いを想像したりする活動を増やし指導を工夫していきます。

○　時事的な情報に対する関心を高め、必要な情報を見つけて読む力を身につけるために、日々の教育活動に新聞記事を活用した学習に取り組みます。

【国語Ｂ：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領　域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと･聞くこと	６４．９ ％					○
書くこと	５３．４ ％	○				
読むこと	４９．２ ％					○

【考　察】

○　伝えたいことが上手に伝わるように、つながりを考えて書く活動を、総合的な学習の時間などでも確保していきます。

○　国語科の授業を中心に人物同士の関係や場面の様子についての表現を深く考える活動を今後も充実させるとともに、日常の読書活動を充実させていきます。

【算数Ａ：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領　域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	８０．６ ％					○
量と測定	６８．８ ％				○	
図　　形	８１．１ ％					○
数量関係	７９．６ ％					○

【考　察】

○　「数と計算」の問題の正答率に個人差が見られることから、朝の活動や授業の中で繰り返し習熟を図っていきます。

○　１ｍあたり６０円のリボン０．４ｍ分の代金□円の関係を数直線上に表す問題では、数の大小や小数倍に対する理解が十分とは言えないことから、「何をもとにして、何を求めるのか」という考えが身につくよう、根拠に基づき式をつくったり、つくり方を説明し合ったりする活動を取り入れていきます。

【算数Ｂ：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領　域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	５２．８ ％		○			
量と測定	４７．０ ％	○				
図　　形	１３．２ ％	○				
数量関係	４０．０ ％		○			

【考　察】

○　ある実験の結果の平均を求める問題では、平均を求めることの理解が十分とは言えないことから、具体的な体験を通した学習を工夫していきます。

○　問題場面を読んで、基準量、比較量、割合の関係を的確に読み取る力が十分に身についていないようです。また「○％増量」「○％値引き」のように割合を表す数値を用いた処理に課題が見られました。問題場面を数直線上に表して具体的にイメージすることを積み重ねて、基準量、比較量、割合の関係を的確に判断できるように指導していきます。